

か 令和
す 5
が 年度
ら
い
ふ

高校生向け



はじめに

情報メディア創成学類長 森継 修一

2007年に創設された情報メディア創成学類も、16年が経過して2023年度を迎えることとなりました。みなさんも実感されているとおり、2020年の初頭から発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界の様相は一変し、大学を取り巻く環境も大きな影響を受けました。授業はほとんどオンライン実施となり、クラスメートと直接話すことも、海外に留学することも困難になりました。今は、2022年10月の秋学期から対面授業が大幅に復活し、キャンパスにもようやく賑わいが戻ってきたところです。そのような中でも、情報メディア創成学類生は、得意な情報通信技術を大いに活用して、従来に劣らない学業成果を上げています。また、大学や学類の運営のために教員が行う諸会議は、今でもオンラインで行われているものが多数ありますが、物理的な移動が不要になった分、効率化が進んだように実感しています。

2011年3月に第一期生が卒業して以降、本学類の卒業生たちは、独自の個性を各々に発揮して、研究、開発、創作、事業、社会活動などの多様な分野で活躍しており、時代や社会のニーズに答える人材を養成するという大きな役割を果たしてきたといえます。現代は、Society 4.0と言われる情報社会から、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society 5.0）を目指す時代とされています。とはいえ、コロナ禍の中、接触確認アプリ（COCOA）の不具合が長期間解消されなかったなど、技術的に未成熟な面も明らかになってしまいました。したがって、IoT（Internet of Things）、AI（Artificial Intelligence）、サイバーセキュリティ、ビッグデータの解析などに対する高度な技術や知識を身に着けた次世代のICT（Information and Communication Technology）人材がますます求められています。そのため、情報メディア創成学類では、これまで、ネットワーク情報社会に不可欠な基盤的技術分野やWeb・映像・

音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野において、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる人材養成のための教育を行ってきました。

また、本学類は創設以来の歴史が若いことから柔軟性を持っています。特に、1学年の定員50名（3、4年次は編入生＋10名）と比較的小さな学類ながら、30名の専任教員（2023年4月現在）が在籍し、1学年あたり学生1.6人に対して教員1人ときめ細やかな対応が可能な比率になっています。さらに、第一線で活躍するクリエイターやプロデューサをお招きしての講義、実践力を養成するために産学共同で実施する「組み込み技術キャンパスOJT」など、特色ある授業科目も併せて開設することで、幅広く、みなさんの希望に応じて様々な内容が学べるカリキュラムにもなっています。

情報メディア創成学類の英語名は、College of Media Arts, Science and Technology（略称 MAST）です。Artという言葉が入っているので、一見、芸術系にも見えるかもしれませんが、ScienceとTechnologyをも基盤とする理工系の学類です。高等学校の教育課程においては、何をにおいても数学の学習が基本になります。また、「デジタルネイティブ」とよばれる世代のみなさんにとって、インターネットやネットワークサービスそのものは生まれたときから当たり前に身近に存在していたことでしょう。実際のプログラミング経験は人それぞれかもしれませんが、入学後に学べる機会はいくらでもあるので、心配は不要です。そのうえで、情報メディア創成学類での様々な学習、交流による新たな体験を積み上げて、これからの新しい社会であるSociety 5.0の実現に貢献していく次世代のICT技術者／研究者を目指してみませんか。そういった好奇心とチャレンジ精神にあふれたみなさんを本学類は心より歓迎します。

知識情報・図書館学類長 鈴木伸崇

経済学者 J.K. ガルブレイスは、彼が生きた20世紀とそれ以前の時代を対比させて、前者を「不確実性の時代」と形容しました。ガルブレイスが『不確実性の時代』を著してから40年以上が経ち、我々は既に21世紀を迎えています。社会の不確実性は減少するどころかますます顕在化しており、現代ほどこの言葉が当てはまる時代もないのではないかと思います。このような、先行きを見通すことが難しい時代に生きる我々は、これから何を学んでいけばよいのでしょうか。

現代は、情報技術など最先端の技術開発が大きく進展する一方で、我々には人類誕生から現代に渡るまでの膨大な知識の蓄積があり、情報技術の進展で様々な情報・知識へのアクセスが容易になりつつあります。一方、特に日本においては、「情報」は理系的な観点から捉えられることが多かったように思いますが、情報技術が社会に深く浸透した今、「情報」は様々な社会的・人間的要素と深く結びついており、「社会」や「人間」から切り離して考えることはもはや不可能です。先行きの不透明なこの現代においては、文理の枠にとらわれず、あらゆる情報・知識を分野横断的に活用できる力、広い視野で問題解決を図ることのできる能力が求められています。

このような時代を見据えて、知識情報・図書館学類では、かねてから文理融合型の教育研究を推進してきました。本学類には知識科学、知識情報システム、情報資源経営の3つの専攻があり、それぞれ人間、情報技術、社会を主な観点として知識や情報について学び、広い視野と問題解決能力を養います。そして昨年、本学類の理念をより多くの方々に知っていただけるよう、新たにスローガンを設定しました：

つなぐ－知識、情報、人。

IoTやAIによるパラダイムシフトが進む一方、少子高齢化や格差の拡大が深刻化するなど、大きく揺れ動

く予測困難な社会において、過去に正解はありません。我々は知識、情報、人をつないで新たな知を創出し、次代を切り拓いていく必要があります。知識情報・図書館学類は、このような社会で活躍することのできる知識情報のエキスパートを育成することを目指しています。

知識情報・図書館学類は、教育研究だけでなく、入試も文理の枠に囚われません。推薦入試では、小論文に加えてビブリオバトル方式の面接を課しています。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」キャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームのことで、学校や大学、図書館、企業の研修や勉強会で広く活用されています。面接にビブリオバトル方式を採用するのは意外に思われるかもしれませんが、しかし、一般的な面接ではどんな話題で議論するか事前に知らされないことが多く、話題によっては実力を発揮できないこともあります。一方、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨むことができ、受験生一人一人に実力を発揮する機会があります。もちろん、使用する本は文系・理系を問いません。ご自分の好きな本とともに、ぜひ本学類の推薦入試にチャレンジしてみませんか。

知識情報・図書館学類では、多彩な研究領域の教員を擁し、教職員によるきめ細やかな学修指導や、ラーニングコモンズでの学修支援なども充実しています。我々と共に学び、知識の力で「不確実性の時代」を切り拓いていきましょう。

目次

はじめに _____ p.2~3

～大学編～

年間行事 _____ p.6~7

共通科目 _____ p.8

創成の科目 _____ p.9

知識の科目 _____ p.10~11

klis 主専攻紹介 _____ p.12~14

大学説明会（知識） _____ p.15

～入試編～

様々な入試形態 _____ p.17

合格体験記 _____ p.18~24

情報メディア創成学類 _____ p.18~21

知識情報・図書館学類 _____ p.22~24

～生活編～

生活体験記 _____ p.26~29

宿舍編 _____ p.26~27

アパート編 _____ p.28

宅通編 _____ p.29

略称について

筑波大学では、各学類様々な略称が用いられています。春日エリアの2学類は、

- ・情報メディア創成学類
：「メ創」、「創成」、「mast（マスト）」
- ・知識情報・図書館学類
：「知識」、「図情」、「klis（ケーリス）」

と略されます。
（＊ちなみに mast は Media Arts, Science and Technology、klis は Knowledge and Library Sciences から取られています。）

本誌内でもこれらの略称が用いられている箇所が多々あります。ご了承ください。

～大学編～

筑波大学にはどんな行事があるの？どんな授業科目があるの？この章を読んで、筑波大学での学生生活を想像してみましょう！



年間行事

4月上旬～5月下旬

春 A

入学式

大学生活の始まり。22年は大学会館で対面、オンライン併用で行われました。歌手のクリスハートさんの手がけた学生歌、「IMAGINE THE FUTURE」は必聴。YouTubeでも聞くことができます。

<https://youtu.be/Ll89Pi63S7I>

入学式後に学類ごとに行われるオリエンテーション(22年度は対面)では学類の人と初めて集まるほか、履修に関する重要な書類の受け渡しや説明などがあります(特に体育に関する説明はしっかり聞いておいた方がいいかも…?)。

新歓本祭

各サークルがブースを立ち上げて新入生に対してサークル勧誘を行う、いわゆる祭りです。大学の祭りというものをご存じの方も多いと思いますが、この新歓本祭では、気になるサークルの内容を聞けるチャンスです!

5月下旬～7月上旬

春 B

スポーツ・デー

年に2回(春学期と秋学期で1回ずつ)行われます。毎年様々な種目が開催され、キャンパス各地で盛り上がりを見せます。最近ではe-sports 枠もあり、スマブラも競技に入りました。

やどかり祭

一年生が主体となり、平砂、追越宿舎近くで運営される祭りです。なんといっても目玉はゆかたとパフォーマンスのミスコン、「ゆかコン」です。この祭りでカップルが誕生する「やど祭マジック」なんてものもことしやかに囁かれており…。



7月上旬～8月上旬

春 C

夏休み

春Cが終わる8月上旬から9月末まで、2カ月近くあります。大学生の夏休みは長いのです。実家に帰省してゆっくりしたり、期末テストの傷を癒したり、バイトに明け暮れたり、好きなことに全力を注いだり、あなただけの最高の夏休みを過ごしましょう。

さて、筑波大学での1年間はどのように過ぎていくのだろう。

筑波大学にある、学生生活を彩るさまざまなイベントを紹介します。

10月上旬～11月上旬

秋 A

スポーツ・デー

基本的な内容は春と同じです。新しくできた友達と競技にチャレンジしてみるのも良いかもしれません。



11月上旬～12月下旬

秋 B

雙峰祭(そうほうさい)

11月に3日間に渡り開催される筑波大学の学園祭です。多くのサークルや団体の模擬店、ステージ企画や豪華ゲストなどで学内がとて盛り上がる一大イベントです。(ちなみにここでも「雙峰祭マジック」というものがあつたりなかつたり)

冬休み

12月終わりから1月頭までのとても短い冬休み、休みと言える長さじゃありません。実家が近い人は帰省したりできますが、遠い人は寒空の下、つくばで過ごしましょう。

1月上旬～2月上旬

秋 C

卒業式

3月下旬に行われる学生生活最後の晴れ舞台。袴を着る学生も多数見られ、会場がにぎわいます。

春休み

冬休みが驚異の短さである代わりに、春休みは期間が2カ月弱と長めになっています。好きなことをして、来年のために力を蓄えておきましょう。

ABC モジュールって?

大学は、単位を修得することで進級・卒業ができます。筑波大学の場合、授業は1コマ75分で、夏休みを挟み、前半が春学期、後半が秋学期となっています。さらにこれらの学期はそれぞれABCの3つのモジュールに分かれています。1つのモジュールは5週間です。授業にはABもしくはBCモジュールを通して10回行われるものと、ABCモジュールを通して15回行われるものがあります。基本的には週1コマ×10回で1.0単位、週1コマ×15回で1.5単位を修得できます。klisやmastの授業の多くはABモジュールで終了しますが、Cモジュールまで行われる授業もあります(他学類に多いです)。Cモジュールの期間は授業以外のことに活用できる時間が増えます。

共通科目

ファーストイヤーセミナー

必修科目です。この科目については学類によって内容がかなり異なるため、後述する各学類の科目紹介で紹介します。

学問への誘い

全学類必修科目です。この科目では、自分の学類や他学類でどんなことを学ぶのかを知り、また自分の専門分野と他分野がどのように関連しているかを知ることができます。筑波大学が重視する「学際性」との関連が深い科目です。

English Reading Skills

全学類必修科目です。様々な英語の文章を読んだり、ときには書いたりもします。その授業内容は先生に一任されていて、どの先生が割り当てられるか、どのような授業を受けることになるかは完全な運任せです。クラス分けテストは素直に全力で受けてください。

English Presentation Skills

全学類必修科目です。英語を通してプレゼンテーションを学び、プレゼンテーションを通して英語を学ぶ授業です。English Reading Skills 同様、授業内容は先生に一任されていて、どの先生が割り当てられるか、どのような授業を受けることになるかは完全な運任せです。

基礎体育

全学類必修科目です。履修科目は自分の好きな科目を希望し、抽選で決まります。バドミントンやバレーボールなどの定番種目から、ニュースポーツやジョグ&ウォークといった変わった科目もあります。是非先輩方に話を聞いて参考にしましょう。科目選択には、体育センター HP (<https://www.sapc.tsukuba.ac.jp/>) 上にある「科目抽選システム」

にて、申請期間中にオンライン上で科目の希望が取られます。詳しい説明は新入生オリエンテーションで行われるので、聞き逃さないようにしましょう。

情報リテラシー（演習）

全学類必修科目です。コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける授業です。Microsoft の Word や PowerPoint の使い方を実践的に学びます。

情報リテラシー（講義）

全学類必修科目です。情報の基本概念と社会におけるコンピュータやインターネットの位置づけを理解した上で、コンピュータの原理と構成、ソフトウェアの原理、インターネットの仕組み、情報倫理や情報セキュリティ、知的財産権に関する知識を学びます。

データサイエンス

全学類必修科目です。主に Microsoft の Excel を用いる科目で、データサイエンスの基礎的な概念を理解し、基礎的なデータの分析の仕方やその重要性を学びます。

総合科目（学士基盤科目）

筑波大学を卒業するためには、総合科目または学士基盤科目と呼ばれる科目を最低 1 単位以上取る必要があります。1 年のうちに取っておくのが主流です。どの科目も抽選が行われますが、なかなか厳しいため取り逃してしまうことも。早めの履修準備を心がけましょう。興味のある科目があれば 2 つ以上履修しても問題ありません。自由に履修してみましょう。

第二外国語について

*第二外国語は必修ではありませんが、履修している人もそこそこいます。余力があれば是非、好きな言語を学んでみてください。

創成の科目

必修科目

ファーストイヤーセミナー

学校設備の使い方を学んだり、自己紹介などをしたりする、授業というよりオリエンテーションの要素がある授業です。

情報数学 A

論理、集合、写像などについて学んで行きます。計算というよりは証明問題が多く、またパズル的な要素もあるため、苦手な人は積極的に先生や友人など周囲の人に質問して解決しましょう。

線形代数 A

ベクトル、行列の基本について学びます。行列の計算は慣れるまではとても大変ですが、毎週課される演習をこなすことで、しっかりと定着させることができます。教科書や授業資料をよく読み、最終的には理解できるように頑張りましょう。

微分積分 A

高校の数Ⅲ分野の発展を学びます。数Ⅲで習った極限や微積などの厳密な定義や証明から入り、そこから導かれる新しい定理や計算手段について学んでいきます。教科書に載っている数式は理解が難しいものも多くあるので、分からないところがあれば先生や友人に質問しましょう。

プログラミング入門 A・B

プログラミング言語の Python を扱う授業です。かなり基礎的なところから学習するので、プログラミングを学ぶのは初めてという人でも大丈夫です。また、私が受講したときは、Discord というチャットアプリを用いて、

授業中は生徒同士でいつでも相談し合える環境が整っていました。行き詰ったときは気軽に質問しましょう。

選択科目

コンテンツ入門

毎回授業をしてくださる教授が変わるオムニバス形式の授業。特徴的なのはなんといっても後半の 5 回にわたって行われる講師をお招きしての授業。色々な分野の最前線で活躍している方のお話が聞けるので大変人気の高い授業です。それらの授業については、Twitter でツイートをすることで出席確認を行うという、特殊な形式をとっていました。

その他 mast 生がよく取る情報系選択科目

- ・知能と情報科学
- ・計算と情報科学
- ・システムと情報科学
- ・情報科学概論
- ・知識情報システム概説
- ・知識情報概論

知識の科目

必修科目

ファーストイヤーセミナー

昨年度は、メールやレポートの書き方、附属図書館の使い方、卒業研究着手発表会への参加、PROG テスト、インターンシップ等の概要説明など、その内容は多岐にわたりました。また、1 年生が全員集まって同じ授業を受けるため、同級生との交流の場にもなります。成績評価は P/F です。出席や課題を忘れず、きっちり単位を取っていきましょう。

情報数学 A

情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ授業です。特に集合、論理、写像、グラフといった概念の基礎を取り上げて講義が行われます。昨年度は先生がとても分かりやすく教えてくださったため、数学が苦手な人でも理解しやすかったという声が多くありました。必修科目でこれから先の学修で必要になってくる知識ですので、しっかり勉強しましょう。

知識情報概論

情報とはなにか、情報を記録すること、共有することとはどんなことかなどを学びます。知識情報・図書館学類でどんなことをしていくのかを理解しながら、知識共有に関連するさまざまな概念を知ることができる科目です。例年他学類の学生からも非常に人気の授業です。klis 生は必修でこの科目を取れるので、ぜひ楽しんでください。

アカデミックスキルズ（アカスキ）

アカスキは知識情報・図書館学類独自の科目です。ここでは情報検索やレポートの書き方、プレゼンテーションの方法など、大学生に必要なスキルを身につけることができます。ファーストイヤーセミナーでもレポートの書き方などを少しやりますが、アカスキではより詳しく丁寧に学びます。ここまでやったださる授業は他にはないと思います。実際にレポートを作成したりプレゼンテーションを行うなど課題は少し重いですが、他の授業や将来に役立つスキルを身につけられる非常に有意義な授業です。集中して授業に参加しましょう。

プログラミング入門 A・B（プロ入）

Python というプログラミング言語を使用して、プログラミングについて一から学びます。プログラミング経験が無くても大丈夫です。先生や TA さんに質問できる機会も多く、初心者でも安心です。プロ入 A は基本的なことを学びますが、プロ入 B は A で学んだことを組み合わせた、若干応用的な内容になってきます。そのため難しいと感じる人が多くいたように思います。分からない部分は授業時間に積極的に質問しましょう。

選択科目

知識情報システム概説

ネットワーク社会における知識の構造化、提供、共有のための枠組みについての講義です。正直 klis 生のなかには、情報学群に入ったけどこのような基礎知識をほとんど持っていないと少し不安を抱いている人もいるのではないのでしょうか（実際筆者はそうでした）。そんな klis 生はぜひこの科目を取ってみましょう。またネットワークに詳しい人も、この分野の最前線で研究を行っている先生の話の聞いたり、最新の情報も知ることができるため、有意義なものになると思います。

図書館概論

1 年次対象の唯一の図書館に関する授業で、司書資格取得のための必修科目です。図書館の歴史や現状、機能、社会的意義などを学び、今後の図書館の在り方を展望するための考え方を身につけます。授業内で国内外のさまざまな図書館が例として挙げられ、図書館に関する認識が変わります。図書館が好きな人も、それほど興味がない人でも楽しめる授業だと思います。

線形代数 A

高校では扱っていない行列の基礎を学び、演習等を行う授業です。なんとなく難しそうですが、数学が苦手な筆者でも、演習を繰り返すことで理解を深め単位を取ることができました。線形代数の知識は 2 年次以降の授業で役立ちます。

微分積分 A

微分積分についての科目です。新しい概念や定理なども出てきますが、数 III の内容と被っているものが多いです。だからといって数 III をやっている前提で授業が進むわけではなく、かなり基礎的な部分から丁寧に説明をしてくださいました。微分積分は 2 年次以降に学習する統計や解析学などに必要な知識です。大変かもしれませんが、今後のためにも履修することをおすすめします。

その他 klis 生がよく取る情報系科目

- ・知能と情報科学
- ・計算と情報科学
- ・システムと情報科学
- ・情報科学概論
- ・情報メディア入門
- ・コンテンツ入門

klis 主専攻紹介

klis には 3 つの主専攻があり、3 年次から分かれてその主専攻分野について専門的に学ぶことになります（mast は主専攻に分かれることはありません）。主専攻には「知識科学主専攻」「知識情報システム主専攻」「情報資源経営主専攻」があります。ここではそれぞれの主専攻について紹介していきます。（紹介している科目は 2022 年度に開講されているものですのでご了承ください）

知識科学主専攻

「人間」に注目する主専攻です。知識や知識共有の本質を探り、それらを活用する能力を修得します。この主専攻では、知識の本質や人間の情報行動、人間の知識獲得の在り方などの人文社会的なものから、データを分析して知識を抽出する手法や知識の探索技術などの理工学的なものまで、とても幅広い分野を研究対象としています。このような幅広い研究対象から、自分が研究したいことを突き詰めて取り組むことができる主専攻と言えるでしょう。

専門科目紹介

○知識科学実習 A・B

この授業は知識科学主専攻の先生方がオムニバス形式で講義を行うものです。主にグループワークで実習が進められ、卒業研究だけでなく、卒業後社会人になっても役に立つ力を身につけることができます。

○知識論

哲学の観点から「知識」を取り扱う授業です。哲学において「知識」がどのように捉えられてきたか、現代哲学において「知識」に関するどんな問題があるのかを学ぶことができます。

○データマイニング

大量のデータから規則性を探し出すための手法である「データマイニング」について、典型的な考え方やその方法について学ぶ授業です。データマイニングに必要な基礎知識から応用まで学ぶことができます。

○テクニカルコミュニケーション

テクニカルコミュニケーションとは、専門情報を正確に分かりやすく伝えることを意図した筆記・口述の方法です。テクニカルコミュニケーションを意識した文書の企画・構成・表現設計に必要とされる知識や技術を、実践的に学びます。また専門職としてのテクニカルコミュニケーションの業務や活動を、演習を通して学びます。

知識情報システム主専攻

「情報技術」に注目する主専攻です。インターネットなどの情報技術の進歩によって、私たちは膨大な知識と情報を共有しています。それらを有効に効率よく扱うための技術が必要です。この主専攻では、知識や情報を有効に共有・活用するための高度な技術を修得します。特に大きな強みとしてプログラミングの演習が充実していることが挙げられます。しかしそれだけでなく、知識情報の共有や、データベース、情報検索、デジタルライブラリといったさまざまな知識情報システムについて学び、研究することができます。

専門科目紹介

○知識情報システム実習 A・B

実践形式の講義で、グループワークで実際にシステムを開発・構築します。システムをグループで協力しながら開発し、システムを実現するための実践的な知識・技術を身につけることができます。

○Web プログラミング

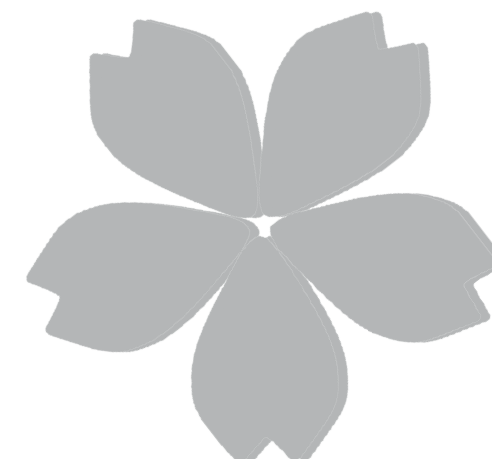
Web の基本原理からサーバ側プログラミングの基本原理と実際、セキュリティ問題について学びます。実習や課題で実際にプログラムを作成することもあります。

○データベース技術

データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要な知識について、演習を交えながら学びます。また実際にシステムを構築していく過程で遭遇し得るさまざまな問題に関して、必要な解決能力を身につけます。

○デジタルライブラリ

デジタルライブラリが図書館サービスとして定着するまでの流れを学び、学術情報基盤を前提としたデジタルライブラリの機能について考えます。



大学説明会（知識）

知識情報・図書館学類では、学生が主体となって大学説明会を行っています。少しでも本学類に興味を持っている人は是非参加してみてください。学類生の生の声を聞いたり、直接質問ができる良い機会です！

筑波大学知識情報・図書館学類大学説明会実行委員長 向悠里

みなさんこんにちは。2023年度知識情報・図書館学類大学説明会実行委員長の向悠里です。

知識情報・図書館学類では毎年8月に大学説明会を行っています。例年は春日エリアで行われる説明会ですが、昨年はコロナ禍ということもあって、YouTubeやZoomを使用したオンライン開催でした。行った企画は知識情報・図書館学類の学生による受験や大学生活についてのStudent talk、参加者が実際に推薦入試本番のビブリオバトルと同様の形式で体験する模擬ビブリオバトル、学類生へ直接質問できる学生相談などです。実際にキャンパスに来ていただけない分、実際に交流に参加していただけるよう工夫しました。YouTube(<https://www.youtube.com/@user-iu5ld3dj8q>)に学類紹介動画や昨年度の説明会の動画をアップロードしているので、ぜひご覧ください。

今年も知識情報・図書館学類大学説明会では、みなさんが有益な情報を手に入れることが出来るように準備してまいります。知識情報・図書館学類を志望している方はもちろん、志望校をまだ決めかねている方や、どんなことをしているか興味がある方も、ぜひご参加ください。

今年の説明会の情報はTwitter([@klisdaisetsu](https://twitter.com/klisdaisetsu))で発信していく予定なのでぜひチェックしてみてください。



情報資源経営主専攻

「社会」に注目する主専攻です。知識情報を提供する環境や社会の整備、経営や制度についての知識や手法などを修得します。何年か前までは「情報経営・図書館主専攻」という名称だったことから分かるように、3つの主専攻の中で最も図書館に関係がある主専攻といえます。また、現在この世界には多様な情報が大量に存在しており、それらの情報を蓄積・整理し提供する環境があるからこそ、情報を適切かつ有効に利用することができます。この主専攻ではそのような情報環境の整備、それに関わる社会的制度の設定などについて学び、研究することができます。

専門科目紹介

○情報資源経営実習A・B

情報資源経営主専攻分野における研究テーマを選択し、それについて学術文献リーディングやプレゼンテーション、グループごとの共同研究を行います。図書館情報学分野について興味・関心を高め、基礎知識や研究の基礎的なスキルを身につけます。

○図書館論

図書館について、読書・読者との関係、国際比較、近現代などさまざまな角度から学び考える講義です。それらを通して、図書館を理解するために役立つ基本的な概念や研究について知ることができます。

○情報法

ネットワーク社会で新たに発生するようになった法的問題に接しながら、法律学の体系に関する概念や法理に基づいて、現実が発生している諸問題の現状とその法的対応について学びます。インターネット上の権利侵害やAIの法的な問題などについての講義を受けることができます。

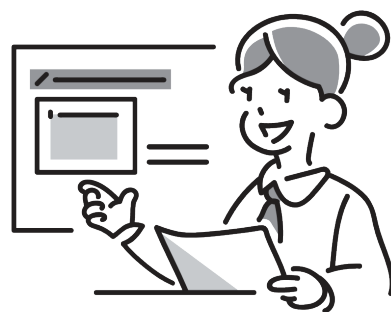
○情報サービス構成論

レファレンスサービスは、図書館や情報サービス機関において提供されるものです。この講義ではレファレンスサービスを対象としてその目的、構成、方法、多様な情報源の利用法、参考調査図書館の組織と運営などについて学びます。そして図書館情報学と経営学の視点から情報サービスの構成方法を考察できる視野を養います。



～入試編～

mast、klis に入るにはどのような入試形態があるだろう。また、先輩達はどのような準備をしていたのだろう。ここでは入試について、体験談を交えながら紹介します！



様々な入試形態

筑波大学には様々な入試形態があります。そのなかで mast と klis で実施している入試形態について少し紹介します。なお募集人数は令和 5 年度入試のものを掲載しています。詳しくは募集要項をご覧ください。

総合選抜（前期日程）

総合選抜は「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」という区分で学生を受け入れる入試形態です。共通テストと個別学力検査が課されます。合格・入学後、1 年次は総合学域群に所属し、2 年次からそれぞれの学類・専門学群に進学するようになります。2 年次から mast では 18 人、klis では 45 人を受け入れます。

学類・専門学群選抜（前期日程）

合格・入学後は 1 年次から学類・専門学群に所属します。共通テストと個別学力検査が課されます。mast は定員が 20 人です。klis では実施しません。

学類・専門学群選抜（後期日程）

個別学力検査は課されず、共通テストと面接や小論文などの実技検査を用います。mast では実施しません。klis の定員は 10 人です。

推薦入試

所属高校等からの推薦に基づき、共通テストを課さず、11 月に試験を実施、年内には合格が決まる入試形態です（他学類には共通テストを課し、実施時期も異なることもあります）。実技検査では面接や小論文が課されます。klis の面接ではビブリオバトル（ゲームスタイルのグループディスカッションで気に入った本の紹介を行う形式）を用います。mast は 8 人、klis は 40 人の定員です。

アドミッションセンター入試

AC 入試とも言い、共通テストを課さず、10 月に試験を実施、年内には合格が決まる入試形態です。第 1 次選考の書類選考と、第 1 次選考合格者に対する第 2 次選考の面接・口述試験で判定が行われます。mast の定員は 4 人、klis は 5 人です。

国際科学オリンピック特別入試

日本情報オリンピック（JOI）本選で A ランクの成績を収めることで応募要件を満たす入試です。共通テスト等は課されず、エントリーシートと 15 分間の面接で判定されます。mast では定員を若干名としています。klis では実施しません。

国際バカロレア特別入試

IB ディプロマ取得者を対象とする入学試験で、書類審査と面接、口述試験が課されます。mast、klis とともに定員を若干名としています。

私費外国人留学生入試

日本国籍を有しない者を対象とした入学試験で、小論文と面接が課され、日本留学試験の成績と合わせて総合的に判断を行います。mast、klis とともに定員は若干名としています。

合格体験記

学類・専門学群選抜（前期日程） 情報メディア創成学類

受験した理由

飽きっぽい性格の私は何かを一途にやり遂げた経験がなく、大学を選ぶ際にもどこを選べばいいのかかなり悩みました。プログラミングや映像制作、写真、音楽など、自分の興味の赴くままにふらふらと触ってみてはいたものの、本当に自分がやり遂げたいことって何？という問いにぶち当たってしまい決断を先送りにする日々が続きました。そんな中で見つけたのが情報メディア創成学類です。情報メディア創成学類は mast(media, art, science, technology の頭文字) とも呼ばれるため、私がこれまで手を伸ばしてきた趣味が全部生きそうな予感がして、すぐに志望先に決めました。

受験対策について

本格的に受験勉強を開始したのは3年生からです。私の通っていた高校は基本的に部活動が2年生で終わりになるので、3年生は周りも含めてみんな受験ムード一色でした。大体図書館に籠って参考書を開いているか、通っていた塾に行くか、といったような生活を送っていました。情報メディア創成学類は二次試験が数学と英語しかないため、その二つを重点的に、他の教科は共通テストで点数が取れる程度にバランスを設定して勉強をしていました。共通テストについて、通っていた塾のカリキュラムの都合もあり、対策をし始めたのは8月ごろでした。まず演習や模試を重ねて共通テストの傾向や出題形式をつかみ、自分の課題を明らかにした上で、チャートなどを活用した弱点克服のための単元別演習を進めました。二次試験については科目数が少なかったため集中して勉強ができました。数学は他大学も含めて過去問を解くことで自分の苦手な単元を補強するということをひたすら繰り返していました。英語は、筑波大学の試験において長文が多かったため、毎日欠かさず英文を読むことでスピードを上げました。

このように、受験勉強で大切なことは自分の弱点を的確に知ることです。効率的に点数を伸ばすためには自分の伸び代をしっかりと把握しましょう！

終わりに

この文章を読んでいる人の中には、受験勉強に苦しんでいる人たちもいると思います。「落ちたらどうしよう」とか「このままでいいのだろうか」とか、さまざまな悩みがあると思います。でも大丈夫です。極論を言えば受験なんてお祭りです。全国の高校3年生が大学合格という同じ目的のために頑張るなんて状況、人生のうちでなかなかないと思います。せっかくなら重圧に押し潰れされず、楽しんでやる程度の気概でいきましょう！応援しています。

推薦入試

情報メディア創成学類

こんにちは！

今回は推薦入試の合格体験記（+ちょっと合格後の話）を書いていきたいと思います。

志望動機

情報系の分野に進みたいと思ったきっかけは中学3年生の時「VR ZONE 新宿」という施設に遊びに行ったことでした。最初はゴーグルをつけ車の形をした遊具に乗っている人たちを見てなんて子供じみた遊びなのだろうと思っていましたが、実際自分でやってみるとその臨場感に感激しました。そこでVRの世界に憑りつかれた私は首都圏のVR施設を巡り歩きいつしか情報系を志すようになりました。

その後志望を決める際、VR系の技術を学べてなおかつ映像以外の触覚や音も使った表現も学べる学部を探した結果、メ創を発見したというわけです。幸い内申点も高く、学校祭での活躍や部活の設立などの経験があったため、いけるんじゃない？という感覚で推薦入試を受けてみようという流れになりました。

入試内容

入試内容はいろんなところに書いてあるので短く書きます。

筆記試験は大問2つでどちらも英語で書かれた文章をもとに対して答えるものでした。知識というよりかは思考問題が多く英語のレベルもそこそこ高かったです。解答用紙は架線の入った大きな紙が2枚渡されるだけでその紙をどのように使うかは自分次第といった感じでした。

筆記試験が終わるとお昼休憩をはさんだのち15分ほどの面接があります。受験者1人につき面接官が3人いて順番が来ると面接室の前で荷物を置いて待機し、前の受験者が出てしばらくすると呼び鈴を鳴らされて入室します。黒板を使った簡単な数学の口頭試問があった後、志望動機や高校での生活、将来の展望を聞かれました。

入試対策

筆記試験の対策は過去問をといて学校の先生に丸付けをしてもらうという作業を繰り返していました。どの問題も思考系の問題だったため正解かを確かめるというよりかは自分の答えに矛盾がないかを検証することがメインでした。また、筆記試験では数学系の話題が頻出するので数学に使われる英単語を覚えたり、出題されそうな数学の話題をYouTubeで調べるといった対策も行いました。

面接の対策は長文で志望理由書のようなものを書くのではなく、予想される質問に対して答えを用意して対策しました。まず高校生活や将来像といった軸の部分を準備したうえでそこから志望理由や大学でやりたいことを葉のように伸ばして作る方法がおすすめです。必ず伝えたい主項目とその他の項目を用意しておき、本番はそこからいくつか話せばいいというスタンスでいきました。また、その内容をできるだけ多くの人に見て聞いてもらいフィードバックをもとに微調整を加えました。自分は面接対策に一番力を入れていて準備の原稿だけで1万文字くらいあったと思います。本番は棒読みにならず時間を意識しながら聞かれ

た内容に対して必要な情報だけを簡潔に伝えることが大事です。

数学の口頭試問については受験生なら応えられて当然のレベルの問題しか出ません（Focus Gold の星 2 くらい）。ただ人に説明するのは自分で解くのと全然違うので友人や先生に問題を選んでもらい即興で説明する練習を何度か行いました。

また募集要項に英検などの資格を持っていると加点されるとあったので英検準一級を取得しておきました。数学の力も証明しておきたかったので数検の準一級も取りました。どれくらい加点されるのかはわかりませんが余裕のある方は取っておくといいと思います。

入試本番の記憶

入試の内容は先述した通りですがここでは当日の雰囲気やアドバイスを書いていきます。自分は北海道の高校に通っていたので試験の前日からつくばのホテルに泊りました。心の余裕が欲しかったので到着した後は会場を下見しつつ大学周辺を観光して早めにホテルに帰って寝ました。当日の朝は少し寝坊をしてしまいましたが集合時間には間に合い試験に臨みました。

受験後、口頭試問を間違えたり面接がほかの人より 5 分以上早く終わったりして落ちたものだと思っていたので合格を知ったときは安堵するとともにとても驚いていたのを覚えています。

受験生に向けた当日のアドバイスをいくつか下にまとめたので参考にしてください。

予約が埋まってしまうので試験前日に泊まるホテルは早めに予約しましょう。

試験会場がかなり寒いので防寒具を準備しましょう。（特に足元）

面接の待ち時間は長い人だと 3 時間以上あるので準備しておきましょう。

ちょっとおまけ（合格後）

合格後は実家に帰省し孤独に過ごすものかと思っていたましたが、Twitter でほかの推薦合格者とつながることができたので寂しくなかったです。欲を言えば会いに行ったり外に遊びに行く機会を増やせばよかったと思っています。また、怠惰に過ごさないように英語の勉強と興味のある資格の勉強をしていました。そうはいつてもかなり怠けていたなあと後悔しているのでもし合格した人がこれを見ているならばせっかく推薦で浮いた時間を有意義に使うことを意識するといいと思います。

最後に

推薦入試は学びたいという強い意志が大事です。その理由を十分に整理して伝えることができれば合格できると思います。また、受験は通過点でしかないということを意識し、友達を増やしたり、自分磨きをしたり、先んじて専攻分野の研究を試みたり、新たな趣味を開拓したりとその先の大学生活を見据えて時間を有効活用することが大事です。

がんばれ受験生！拔かりなく、確実に進んでいきましょう。

AC 入試

情報メディア創成学類

AC 入試とは

AC 入試は、簡単に言うと自分の好きなことを極めている人向けの入試です（僕が極められているとは思いませんが）。一次の書類選考（志望理由書、自己推薦書）と二次の面接のみで選考されます。学力は一切関係ありません。ほんとに関係ないです。

おまえどんなやつなん？

中学 3 年生の頃から仲間と開発活動を行っていました。開発内容は複数ありますが、現実世界とデジタル世界の相互連携という点で共通していたかと思います。それに付随してありがたいことにいくつか賞をいただきました。

一方、中高の学校生活はというと全く真面目な人間ではなく、学校はよく休んでいたし（現代文後一回休んだら卒業できなかった）、授業は寝ていたか音楽を聴いていたし、テスト勉強なんて一度もしてませんでした。

大学では情報系を学びたかったのですが、これまで勉強も碌にしてこなかったので行ける大学も限られてるな、と思っていました。そんな中、筑波大の AC 入試というのを知り、これしかない！と死に物狂いで自己推薦書を書いたのを覚えています。

そんな話はいいから AC 入試の話をして下さい

という声が聞こえてきた気がするので、AC 入試において個人的に大切だと思うことについて話そうかと思います。情報系の研究開発活動（規模は問われません）を行っているというのは大前提として省略します。

まず重要なことは、あなたが今までやってきたことの根底にどういうテーマがあるかということ認識して明確にすることです。AC では、これまでの活動を大学でより深めることができる人間が受かります。あなたはなぜその活動をしてきたのか、その動機と世界の問題間にどういう関係があるのか、大学に進学してどのような研究開発を行いたいのか、しっかりと筋の通ったストーリーラインを用意しましょう。

次に、アドミッションポリシーをよく読むこと。アドミッションポリシーには、大学が求める人物像が書かれています。あなたはこれまでの活動でアドミッションポリシーに適った人物と言えますか？ よく考えてみましょう。「自分のことを合格させないと筑波大にとって多大な損失ですけど、どうします？」くらいのマインドで望むといいかもしれません。

まとめ（たい）

AC で重要だと思うことについて相当偉そうにつらつらと書きましたが、僕はいずれもできていませんでした！ 自己推薦などをしておきながら自分に自信がない人間なので、特に二次の面接が終わった後は世界が滅びるくらい落ち込んでいました。しかし、これまでいろいろな活動をされているあなたならきっと大丈夫です。だって僕が受かったんだもの。

「その活動が心の底から好きなんだ、自分の活動はこんなに面白いんだ！」と胸を張って言えるあなた、ぜひ情報メディア創成学類でお会いしましょう！

学群・専門学群入試（後期日程） 知識情報・図書館学類

私は、後期試験で知識情報・図書館学類に入学しました。前期試験では総合選抜理系Ⅲを受験しました。高校1年生の頃に klis の存在を知り、当時はまだ新型コロナが存在していなかったため、夏のオープンキャンパスに行きました。それ以来、国公立で行くならここだと決めていました。前期日程で総合選抜理系Ⅲを選んでいるのは、私が理系であり、klis に移行しやすいからです。

課題が非常に多い学校に通い、毎日科学部で研究や議論を行っていたので、引退するまで勉強はほとんど課題のみでした。引退してから共通テストまでは基本的に共通テスト対策に力を入れていました。私大は共通テストのみを利用していたことと、本命である後期試験は共通テストの比重が大きいことが理由です。そこから前期試験までは前期試験対策、後期試験の勉強を始めたのはその後からです。

共通テストの勉強としては学校で配られた対策問題集を解くのを中心にしていました。そのなかで問題の傾向と対策を掴むこと、本番でする可能性があるミスを把握することを心掛けました。例えば、授業でのパックを使った練習で数Ⅰと数ⅠA を間違えたことがあるのですが、こういったミスは本番形式でなければ気づきにくいと思います。また、英語は英語能力よりも多量の情報処理能力を要求され、本番形式への慣れ具合が得点に反映されやすいと思います。また、特に物理や化学で言えることですが、ぱっと見て解けないと思ったり公式をど忘れしたりしてしまっても、粘れば答えが出ることがあるので、最後まで諦めない方がいいでしょう。共通テストである程度の点数を取れたことで、前期も後期も筑波を選ぶ決意ができました。私大の判定も良く、想定よりも心に余裕を持てたので、焦らず二次試験に臨めたと思います。

後期で klis を目指すのであれば、とにかく共通テストで高得点を狙うべきだと思います。私は物事を同時進行で進めることが得意ではないので、私大を共通テスト利用にすることでやるべきことを共通テスト対策1本に絞りました。あまり後期試験の小論文の対策はしていなかったのですが、学校の授業で論文を書いたり部活で議論したりする機会が多かったので、そういった経験が活かされたと思います。普段から自分の意見や根拠を考えたりまとめたりしているといいかもしれません。

推薦入試 知識情報・図書館学類

はじめに

私は、推薦入試で筑波大学情報学群知識情報・図書館学類（通称：klis）に合格した者です。拙い文章ではありますが、本記事が少しでも klis 志望者の力になれば幸いです。

入試の概要

klis の推薦入試は、小論文と面接、提出書類等を含め総合的に判定するものです。但し一般的な面接とは異なり、志望動機や研究に関する質問は一切なく、ビブリオバトル方式を取り入れているため、かなり特殊な入試であるといえるでしょう。入学者選抜方針にもあるように、大学側は「高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価」しています。そのため、共通テストや二次試験を見据えた受験勉強だけでなく、早いうちに人前でプレゼンテーションすることに慣れておくことが望ましいです。

小論文対策について

傾向が大きく変わらない限り、日本語と英語の問題が出題されるため、時間配分に注意して得意な方から解きましょう。可能であれば、複数の先生に自分の書いた文章を見ていただくべきだと思います。私は、過去問を解いて添削してもらっただけでなく、自分自身でも何度も繰り返し推敲していました。

ビブリオバトル対策について

詳しいルール等は割愛しますが、とにかく与えられた5分間でどれだけ本の魅力を伝えられるかが大切です。また、面接試験でもあるため、本の紹介を通じて自分自身を知ってもらうことも重要だと思います。なぜその本を選んだのか、その本からどのような影響を受けたのかなど、自分にしかできないエピソードトークを用い、面接官や他のバトラーを惹き込みましょう。ビブリオバトルをやったことがないという人も多いと思いますが、本番までにできるだけ多くの場数を踏み、経験値を向上させて下さい。学校の先生や塾講師、友人や家族からのアドバイスを参考にするだけでなく、鏡の前で表情を確認しながら練習したり、自分の発表を録画して改善点を探したりすることも有効な手段でした。何から始めたら良いかわからないという人には、YouTube 等で学生大会の動画を検索することをお勧めします。

おわりに

一風変わった入試方式で不安も大きいと思いますが、少しでも klis に興味のある方は是非推薦での受験を検討して下さい。推薦枠が大きく倍率も比較的低いため、絶対に合格したいという熱意を持って本番に挑めば、大学側もきっとあなたの努力を評価してくれるはずです。受験生の皆さんを心から応援しています。

AC 入試

知識情報・図書館学類

はじめに

2022 年度入試のアドミッションセンター入試（以下、AC 入試）で知識情報・図書館学類に合格した者です。本文は AC 入試出願を検討している、または AC 入試に出願を決めた受験生を想定して書かれています。本記事が少しでも受験生の助力になればと思います。

第 1 次選考

入試形態に変更がない限り、1 次選考は自己推薦書の提出です。23 年度入試の募集要項を引用すると自己推薦書は「本文は様式・枚数自由」です。量が全てではありませんが、私と知人含め 3 人の合格者は A4 で 40 ページ前後、過去の AC 合格者の提出資料がわかる「AC 入試レポート集（筑波大学アドミッションセンター）」でもおおよそ 3 万字から 5 万字という記述が多いです。「どのくらい書けばいいかわからない」という方は、目安にしてみてください。

内容についてですが、アドミッション・ポリシーを要約すると、社会的課題を発見・分析・解決ができる人材を求めていることが分かります。これを参考に今まで自分が気づいた社会的課題とその課題へのアプローチを、熱意と論理性を持って書くと良いでしょう。私は 7 月中頃に初稿を上げてから夏休みの間、昼は塾で二次試験対策、帰ってからは執筆と過ごしていました。推薦書の内容と最も近い専門性を持った高校教師に何度も添削してもらい修正を重ねました。本記事執筆中に確認したところ、自己推薦書 .docx は Ver.5.6 まで更新されていました。ずっと同じ文章を見ていると展開の正当性や言い回しに疑問を抱かなくなります。第三者のチェックを挟むのが望ましいです。

第 2 次選考

1 次の書類の日から長い時が経ち、無事合格すると約 2 週間程度で面接が始まります。「長所短所」「高校時代力を入れた事」等の質問は一切なく、30 分間提出書類について、その道の専門家の方々と話をします。高校時代に「研究発表」を経験された方は、その質疑応答を想像していただくとイメージが掴めると思います。あくまで個人の感想ですが、「落とすため」ではなく「受験生をよく知るため」の面接だと感じました。これは提出書類の内容にも共通しますが、相手は学問のプロフェッショナルなので誤魔化しや嘘は通じません。分かることを分かる範囲で、素直に自信を持って話しましょう。面接官はあなたの熱意や好奇心を評価してくれるはずです。

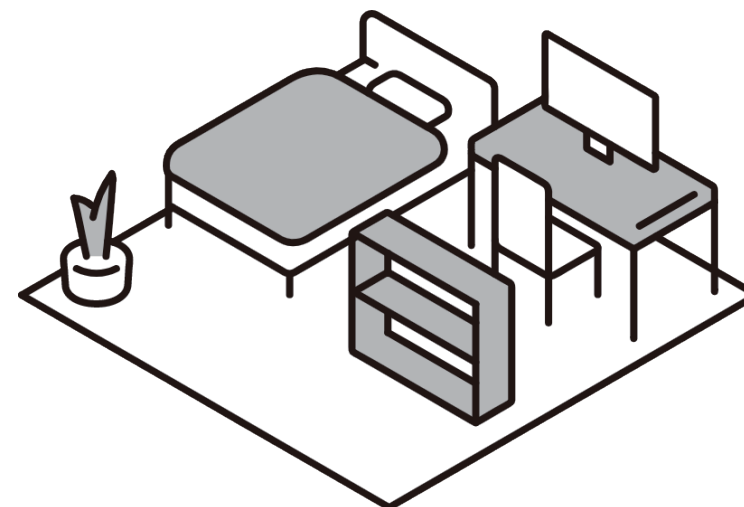
おわりに

「早く終わるから」「勉強したくないから」という動機で AC 入試を選ぶのはお勧めしません。下手をすれば同級生より大学進学が 1 年遅れる結果になります。一方で、高校生 の時点で自分の興味のある分野が定まっている人は案外少ないです。もしあなたが既に何らかの社会的課題に気づいて、解決のために活動し、その活動と大学の学びを結びつけられるなら、大きなアドバンテージを持って入試に挑めるでしょう。



～生活編～

実際に筑波大学に入学した場合、つくばの地での生活はどのようなものになるでしょう。ここでは、先輩の体験談を交えながら、生活に関する情報をお届けします。ぜひ学生生活を想像してみてください。



生活体験記

春日宿舎編

こんにちは。今回は私が住む、筑波大学春日学生宿舎について軽く謎の紹介をさせていただこうかと思います（なお、筆者は 1 号棟に住んでおり、2 号棟とは若干異なる場合があります）。

春日宿舎基本情報

規模

春日学生宿舎は、1 棟で最大約 100 人程度、2 棟合わせて 200 人程度が入居できるとされています。他の数百～数千程度が入居できる宿舎を擁する筑波大学としては、もっとも小さい規模の宿舎になります。春日宿舎は女子棟の 1 号棟と、男子棟の 2 号棟で構成されています (3 号棟もあるけどまあ学群生はまず使わないらしい)。

位置・アクセス

位置は筑波大学春日エリア、筑波大学の (東京キャンパス等を除いて) 最南端に位置するエリアの北端にあり、春日エリア内授業棟などへのアクセスは最短 3 分、最大でも 10 分以内と大変良いです。また自転車を使うと、平砂宿舎エリアに位置するスーパー「カスミ」までであれば 8 分、その先の体芸エリアと呼ばれる体育 / 芸術両専門学群が拠点とするエリアまでは 10 分程度、その先の中央図書館までは大体 15 分程度と、悪くはないアクセスを誇っていると言えます。

また、つくば駅へのアクセスについても自転車で 10 分以上かかるような他の宿舎を大きく突き放し、自転車であれば 5-10 分以内で、徒歩でも 10 分以内にはアクセスが可能であることも大きな特徴でしょう。これにより、春日宿舎民は駅前に位置する豊富な購買施設へのお手軽アクセスが可能となっています。駅前にはトナリエというケーズデンキ、ロピア、ドラッグショップや JINS などが入った駅ビルのようなものがあるので、日常の買い物は特に困らないと思います。

あと人によって行く行かないはかなり分かれるところですが、自称関東最大級のショッピングモールであるところのイーアスつくば店にも自転車で 15 分程度でアクセス可能です。ショップのラインナップとしてもとにかく多く、メジャーなところはカバーしてたりもするので、東京に行くまでもないけどトナリエはな～的な方にとっては、とても良いと評判らしいです。

電気代等

電気代については、3 ヶ月に 1 回ぐらいのペースで請求が来ます。大体エアコン 1 日 18 時間つけっぱなしの夏場で月当たり 2000 円行かないぐらい、何もなければ 1000 円程度と一般的なアパートの 1/8 程度に抑えられています。ちなみに、水道代はそもそも部屋内に水道がないので 0、ガス代も 0 です。

なお、この電気代については全学どこの宿舎でも似たような様子ようです。

共用設備

共用設備として、各階にコイン洗濯機、コイン乾燥機、キッチンっぽい何か、トイレが備え付けられています。コイン洗濯機については 1 回 100 円、乾燥機に関しては 30 分 100 円です。大体 1 週間分ぐらいの服であれば洗濯機 100 円 + 乾燥機 300-400 円程度で洗濯 & 乾燥まで行えるでしょう。補食室という名のキッチンもときには真ん中に大きなテーブルがあり、流しが 2 つ、2 口のガスコンロが 2 つあるような形です。

また、1 階には 3 つのシャワー室、及び共用の浴場があります。ちなみに共用浴場についてはなんと 1 回 300 円も取る平砂大浴場とは違い、無料で入れてしまいます。かといって平砂に対して設備が劣っているわけでもなく、備え付けのドライヤーと体重計 (いや春日にも一応置いてあるにはおいてあるけど壊れてるので…) が春日にはないぐらいです。正直同じ家賃でここまで差があっていいのか疑うレベルでした。ただ 17:00-22:00 までしか開いていなく、逃してしまうと 9 分 100 円のシャワーに入らざるを得なくなってしまうので気をつけましょう。また、浴場もシャワー室もシャンプータオル等はないので忘れず持参しましょう。

宿舎内での交流ってどれぐらい?調べてみた!

さてさて宿舎をご検討されている / 宿舎に決めた方々には一定数、宿舎ではより密接な交友関係が築けるのではないかと期待もあって選ばれた方もいるのではないのでしょうか。本項では宿舎内における交流について、耳にした内容を自身の意見も踏まえ述べていくこととします。

交流があった

- ・同じ階の人と補食室でピザパや素麺パなども補食室で行うなど、交流を深められた
- ・同じ学類で仲良くなった人と謎鍋パーティや揚げ物パーティなどを補食室で行えた
- ・風呂で偶然出くわし、そのまま一時間話込んだりするなど、宿舎ならではの交流があった

交流がそこまで無い

- ・同じ階に同学類の人が少なく、絡みづらかった
- ・特に 2 年目以降は宿舎に残留する人も少なくなり、宿舎の頃の交友関係は今でも続いているものの、宿舎内自体での交流というもの自体はほぼなくなった
- ・時間によっては人と遭遇せざるを得ないときもあり、その時のメンタル状況によってはキツかった

交流については上記のように、同階の人々と補食室で一緒にご飯など楽しめることもある反面、どうしても人に会わざるを得ず、メンタルが厳しいときはきつい、などのデメリットも散見されます。

宿舎については、年度途中で抜けても家賃は戻るシステムになっているので、最初の数カ月はお試し、向いてないと思ったらアパートに移るのもいいかもしれません。

アパート編

私は春日 3 丁目のアパートに住んでいます。アパートに住む人も、今後アパートへの引っ越しを考えている人も、是非読んでみてくれると嬉しいです。

アパート選び

アパートを選ぶ際の基準として、主に家賃と立地が挙げられます。私は家賃 3 万円以内ということを条件に設定し物件を探しました。家賃 3 万円以下となるとほとんど間取りは変わらず、最終的に立地を決め手として春日 3 丁目のアパートに決めました。

春日 3 丁目を選んだ理由としては、筑波大学の春日エリア、本学エリア、日用品や生活雑貨をそろえられるトライアルのちょうど中心あたりにあり、生活するうえで移動にあまり時間がかからないためです。授業などで主に利用する施設は春日エリアの教室がメインとなりますが、大学 1、2 年生では体育の授業をとる必要があります。その際に本学エリア近くの体育館や運動場を利用する機会があることや、授業で必要な教科書をそろえられる書籍部も本学エリア付近にあることから、本学に近いと何かと便利な部分もあります。さらにつくば駅には自転車を走らせると約 15 分で着くことから、駅ビルであるトナリエつくばスクエアに入っている飲食店やファッションブランドのお店で気軽に買い物を楽しむこともできます。また少し足を延ばすと本や文具、ちょっとしたプレゼントを買うことも可能な、気分転換するには最適な場所である、全国最大規模の複合書店コーチャンフォーつくば店があり、特に本好きな人にはおすすめです。

メリット・デメリット

アパートの利点として、自由に時間を使うことができることが挙げられます。実家と異なるのは勿論のこと、宿舎とアパートとの大きな違いの一つであると思います。宿舎は設備が共用となっている部分があるため、自分が使用したいタイミングで思うように使用できないことがあるかもしれませんが、アパートはそのようなことはありません。また、自分がアパートに住む際に心配していた隣人関係等のトラブルも特に起こらず快適に過ごすことができます。

しかし、自由に時間が使えるということは欠点にもなり得ます。自由な時間が増えたからといって、趣味等に時間を割きすぎてしまえば、簡単に生活リズムが崩れてしまい健康や生活習慣に大きな悪影響を及ぼします。気を付けるようにしましょう。

余談にはなりますが、ある節目を過ぎると良くも悪くも大きく環境が変わります。初めは慣れないことに疲れてしまうことも多いかと思いますが、学ぶことも楽しいこともきっとたくさんあるはずです。新天地で皆さんが送る生活が、実り多いものになることを願っています。

宅通編

埼玉県の実家から 1 時間ほどかけて毎日通学する私が、宅通民の極意を 2 つ皆さんにお教えします。

自転車は最強アイテム

mast または klis 所属の宅通の皆さんは春日エリアがつくば駅から近いこともあり、本学の人たちや一人暮らしの人たちのように、自転車がなくてもバスでの移動で十分と考える人も多いと思います。私も実際、入学当初はつくばに自転車は持っていませんでした。私は部活に所属しているので、練習のための移動などですぐに必要になりましたが、部活に所属しなくても自転車は持っていて損はありません。むしろ、つくばでの生活を楽しむなら自転車は必須アイテムと言っても過言ではありません。理由は 2 つあります。1 つ目は、mast、klis の人たちでも他学群の授業を受ける機会があり、本学エリアと春日エリアを自分の好きなタイミングで移動するには自転車はもってこいだからです。2 つ目は、つくばに住む友達と遊んだり、ちょっと離れているけど気になるご飯屋さんに行くことができたりと、つくばでの行動範囲が広がるからです。つくばで一人暮らしをする学生の移動はほとんど自転車です。みんな自転車でタフにいろんなところへ出かけます。自転車があればつくば住みの友達と行動を共にできたり、おいしいご飯屋さんを開拓していくことができたりと楽しいです。自転車がなくてももちろん生活可能ですが、アクティブにいろいろなエンジョイしたい人は宅通でも検討してみてください。

スケジューリング力を付けよう

宅通だと、つくばに滞在する時間が短い日は大学に行くのが面倒になってしまうことがあります。大学は小中高と違って、義務感で律せられた生活から一転し、すべて自己責任になるので、正直だらけようと思えばいくらでもだらけられます。私も経験済みです。これに対しての対策は、スケジューリング力を付け、メリハリのある生活を送ることです。私が実際にやっていることは、一週間の予定（各曜日の授業数と時間、部活の有無等）を予定帳に書き出して把握し、空き時間を見つけてその時間に何をするか決めます。例えば、溜まっている課題やオンデマンドの授業など。曜日によって一日の流れは違いますが、毎週同じことの繰り返しなので、それを曜日ごとにルーティン化するのはです。一度習慣がついてしまえば楽なので、まずはどんな習慣を作るかを考え、実行してみてください。また、家と大学の空間を棲み分けることも有効です。私は、家はリラックスする空間、大学は勉強と部活を頑張る空間と決めてしまって、なるべく授業の課題などは大学で済ませ、家では思いっきりだらします。このメリハリを付けることができれば、頑張りすぎずに頑張り続けることができます。ぜひ参考にしてみてください。

ここでは宅通の 2 つの極意をお伝えしましたが、最後に筑波大生としての真の極意を特別にお伝えします。それは、「人と比べず、自分のペースで頑張る」ということです。一人暮らしの人宅通の人、それぞれにメリットと大変なところがあります。どちらが偉いとかはありません。最初の 1 年間は慣れないことも多いかもしれませんが、いろんなことにチャレンジし、自分に合った生活の仕方を見つけて確立させることが今後 4 年間、自分を支えるものとなるでしょう。一緒に筑波ライフをエンジョイしましょう！

かすがらいふ SPRING 2023 高校生向け

情報メディア創成学類 / 知識情報・図書館学類 (2023 年 4 月発行)

発行

情報メディア創成学類長
知識情報・図書館学類長

作成

春日地区クラス代表者会議
かすがらいふ編集委員会

ご協力

情報メディア創成学類の教員の皆様
知識情報・図書館学類の教員の皆様
図書館情報エリア支援室の職員の皆様
春日地区クラス代表者会議
過去のかすがらいふ編集委員の皆様
記事執筆を引き受けてくださった知識、創成の学生の皆様
その他、ご協力いただいたすべての皆様

印刷

朝日印刷株式会社